

平成27事業年度

決算報告書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人上越教育大学

平成 27 年度 決算報告書

国立大学法人 上越教育大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 額 (決算－予算) | 備 考 |
|-------------------------|-------|-------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 3,057 | 3,096 | 39 | (注1) |
| うち補正予算による追加 | — | — | — | |
| 施設整備費補助金 | 61 | 61 | △0 | |
| うち補正予算による追加 | — | — | — | |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 施設整備資金貸付金償還時補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | 2 | 2 | 0 | |
| 国立大学財務・経営センター 施設費交付金 | 25 | 28 | 3 | (注2) |
| 自己収入 | 903 | 965 | 62 | |
| 授業料、入学金及び検定料 収入 | 773 | 823 | 50 | (注3) |
| 附属病院収入 | — | — | — | |
| 財産処分収入 | 21 | 33 | 12 | (注4) |
| 雑収入 | 109 | 109 | 0 | |
| 産学連携等研究収入及び寄附 金収入等 | 105 | 113 | 8 | (注5) |
| 引当金取崩 | — | — | — | |
| 長期借入金収入 | — | — | — | |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 目的積立金取崩 | 70 | 85 | 15 | (注6) |
| 計 | 4,223 | 4,350 | 127 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 4,030 | 4,066 | 36 | |
| 教育研究経費 | 4,030 | 4,066 | 36 | (注7) |
| 診療経費 | — | — | — | |
| 施設整備費 | 86 | 89 | 3 | (注8) |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | 2 | 2 | 0 | |
| 産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等 | 105 | 92 | △13 | (注9) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | — | — | — | |
| 国立大学財務・経営センター 施設費納付金 | — | 16 | 16 | (注10) |
| 計 | 4,223 | 4,265 | 42 | |
| 収入－支出 | — | 85 | 85 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった特別運営費交付金が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付決定額の増加により予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、大学院学生の入学者が増加したこと、大学院学生の休・退学等が減少したこと、学部入試の応募者が増加したこと及び授業料等の不徴収の取扱いを変更したこと等により予算額に比して決算額が50百万円多額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、当初見込みより財産処分収入が増加したことから、予算に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みよりも産学連携等研究収入が増加したことから、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額23百万円が含まれています。
- (注6) 目的積立金取崩については、年度途中において事業計画の変更を行ったため、予算に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注7) (注1) に示した理由により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注8) (注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初の見込みより寄附金事業費が減少したことから、予算額に比して決算金額が13百万円少額となっています。
- (注10) (注4) の財産処分収入の一部を施設費納付金として国立大学財務・経営センターへ納付したため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。